

# 介護保険適用住宅改修

家の中には、危険な要素がいっぱい。  
安心・安全の秘訣は「高齢者を思う」ことです。

障壁(バリア)を解消するのがバリアフリー。例えば小さな段差でも高齢者にとっては転倒の原因になったりと、自宅でも危険な要素はたくさんあります。バリアをそのまま放置してしまうと行動範囲が狭くなり、健康を害する結果に。バリアを改修することで、介助者への負担も大きく軽減されます。

## I 浴室まわり P79~80

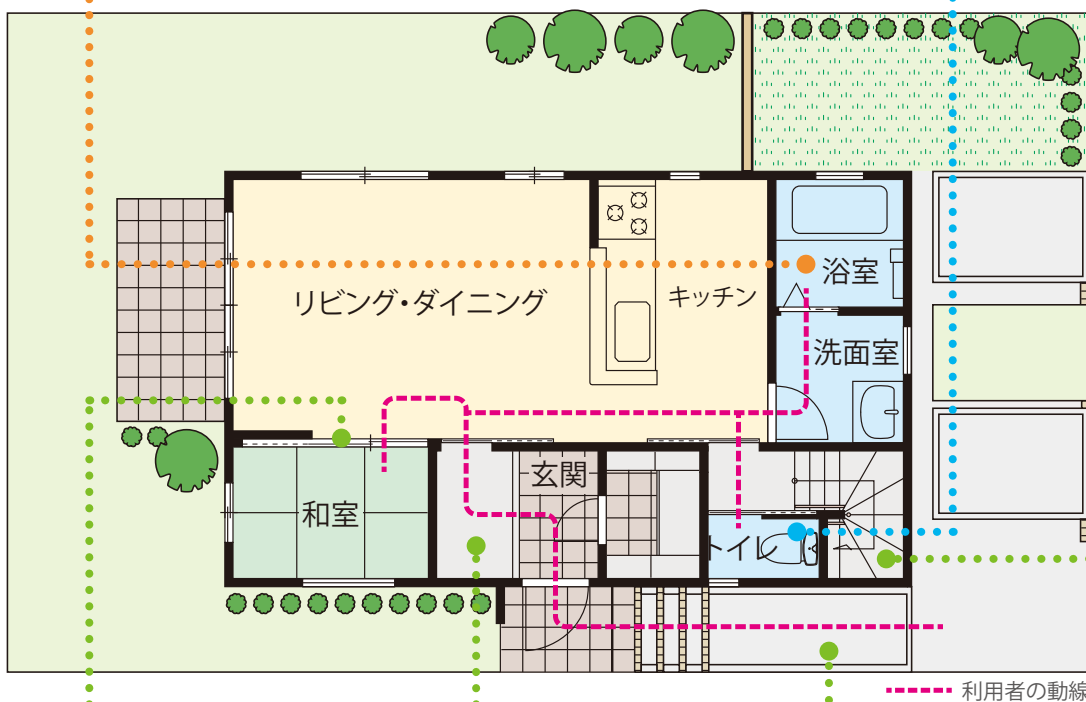
入浴中に安定座位がとれず、溺れる危険性がある場合には、浴槽に沿う壁に手すりの設置をおすすめします。浴室の床はすべりやすいため、各所に転倒防止手すりを設置するの

## II トイレまわり P81~82

かがんだり立ち上がる動作は、高齢者にとって大変です。動作を補助する手すりを設置するなどの対策をしましょう。また、用便中の緊急事態に備え、非常通報装置を設置しておく

## III 階段 P83

足腰の弱い高齢者にとって、階段はとても大変です。手すりを設置することで昇降運動がラクに行えます。すべり止めマットなどを併用して、転倒を未然に防ぐ工夫も大切です。



## III 部屋の出入り口 P83

敷居などの小さな段差でも高齢者にとっては事故の元。段差を解消するスロープなどを設置することで転倒事故を防止できます。また、車いす利用者が積極的に過ごすことができ

## III 玄関 P83

段差が多く介助者の負担も多い玄関まわり。上がりかまちの段差を解消する踏み台や手すりの設置のほか、車いす利用者のための昇降機を取り付けるなどして改善をしましよ

## III 玄関アプローチ P83

玄関アプローチにある多くの段差は外出意欲を失わせる要因となります。連続手すりの設置、車いすや歩行補助用具を使用しても安心して昇降できるスロープの設置をおすすめ

特殊寝台・  
特殊寝台付属品

床すれ  
予防用品

車いす・  
車いす付属品

スロープ

歩行器・  
歩行補助用品

手すり

移動用リフト・  
徘徊用感知機器

住宅改修